

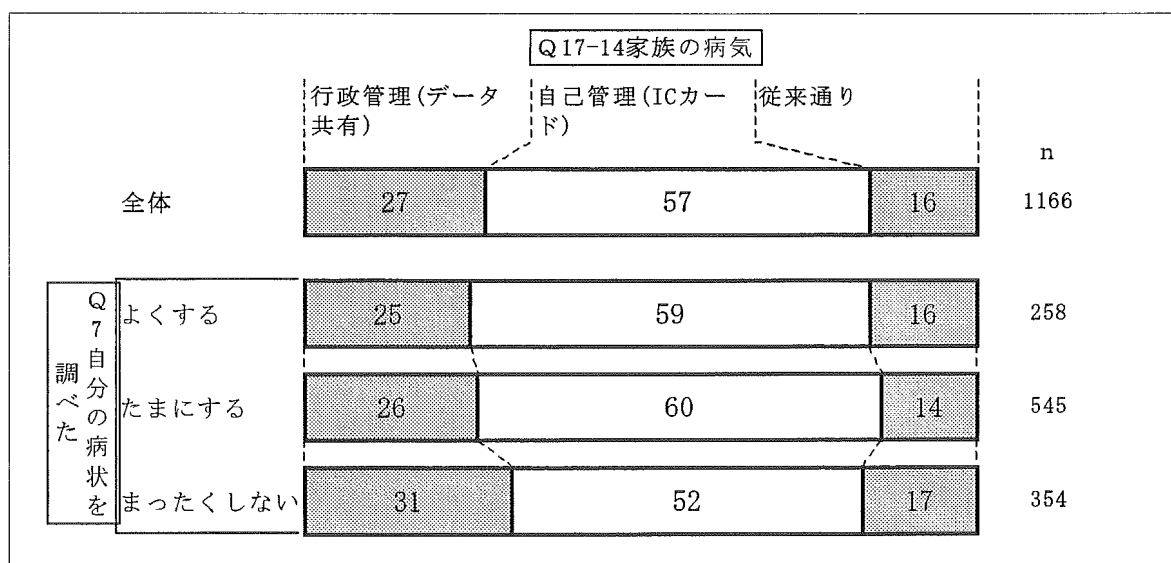
問7「自分の病状を調べた程度」と問17-14「家族の病気に関する情報を管理した方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分が受けた健康診断などの情報の管理について伺います。—あなたは、どのように自分の家族の病気に関する情報を管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいか」

	合計	Q17-14家族の病気				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166	274	574	157	161	
	100.0	27.3	57.1	15.6		
Q7を 自分で 調べた 病状	よくする	258	56	135	37	30
		100.0	24.6	59.2	16.2	
	たまにする	545	123	281	65	76
	100.0	26.2	59.9	13.9		
	まったくしない	354	95	155	53	51
	100.0	31.4	51.2	17.5		



<考察>

家族の病気に関する情報については、自己管理をしたいと思う人がもっとも多く見える。家族の病気に関する情報がプライバシーであるため、他の人に知らせたくないはその一因になるだろうと推測する。そして従来管理より行政管理したいと思う人が多い。

また、答え不明の人数がやや多い。特に自分の病状をたまたま調べた人の中に最も多い。それに対してよく調べた人の中に比較的少ない。よって、自分の病状に関心がある人は、自分の医療情報管理に対しても強い関心を持っていると思われる。

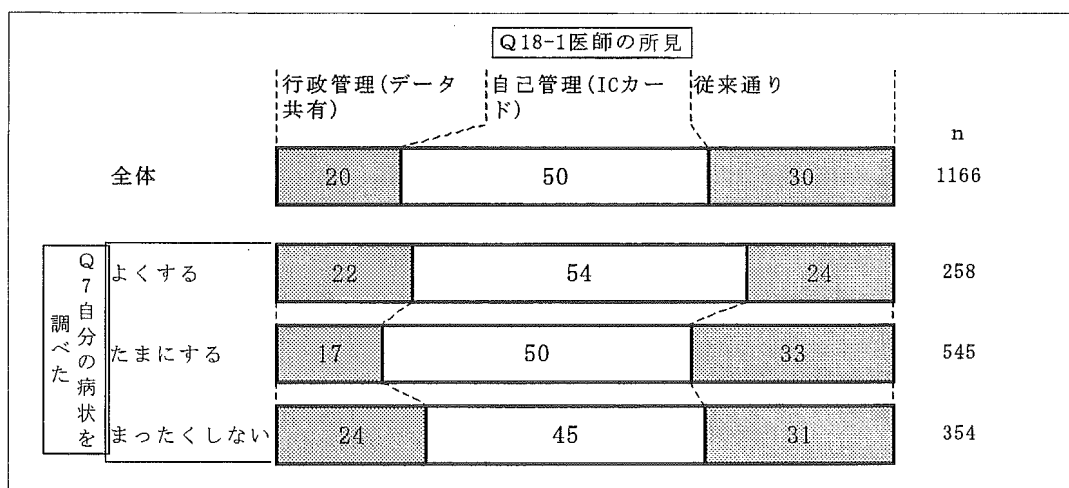
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-1「病歴における医師の所見の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは医師の所見をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-1医師の所見			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	232 20.3	563 49.3	347 30.4	24
Q7を 自分 の病 状を 調べ た	よくする	258 100.0	55 21.7	138 54.3	61 24.0	4
	たまにする	545 100.0	92 17.2	269 50.3	174 32.5	10
	まったくしない	354 100.0	84 24.2	154 44.4	109 31.4	7



<考察>

病歴管理における医師の所見については、自己管理したい人は半分ぐらいの割合が占めている。医師の意見は、患者に対する個人的なものであるため、他の人に知らせる必要が

ない、あるいは他の人に知らせたくないのはその一因であろう。しかし、自分の病状をまったく調べない人に対して、自己管理の要求はあまり強く見えない。

そして、行政管理と従来通りと比べ、従来通りに管理したいと思う人のほうは数が多い。

つまり、行政管理に対して、あまり関心を持っていないことである。

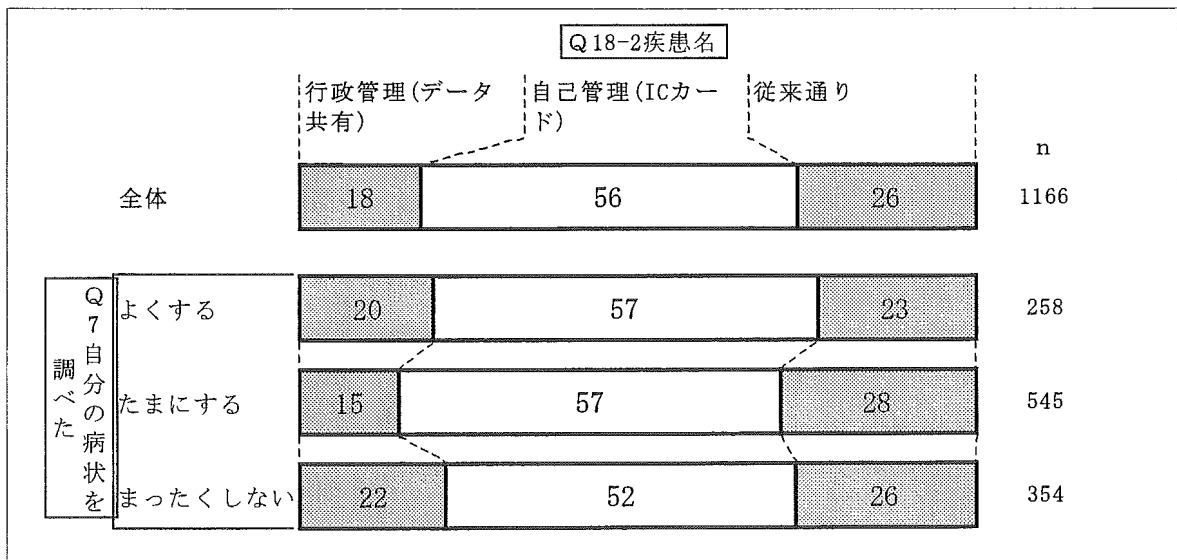
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-2「病歴における疾患名の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは自分の疾患名をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-2疾患名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	209 18.4	629 55.3	299 26.3	29
Q7を 自調べ の病	よくする	258 100.0	50 19.7	146 57.5	58 22.8	4
	たまにする	545 100.0	82 15.4	304 57.0	147 27.6	12
	まったくしない	354 100.0	76 22.1	178 51.7	90 26.2	10



<考察>

病歴管理における疾患名については、自己管理したい人は半分以上の割合を占めている。疾患名は、個人のプライバシーであるため、他の人に知らせたくないのはその一因であろう。しかし、自分の病状をまったく調べない人に対して、自己管理の要求はやや低く見える。これは自分の病状に対する関心度と関係がありそうに感じられる。

そして、行政管理と従来通りと比べ、従来通りに管理したいと思う人のほうは数が多い。つまり、行政管理に対して、あまり関心を持っていないことである。これは、行政管理のメリットに対して、想像しにくいところはあるではないかと思う。

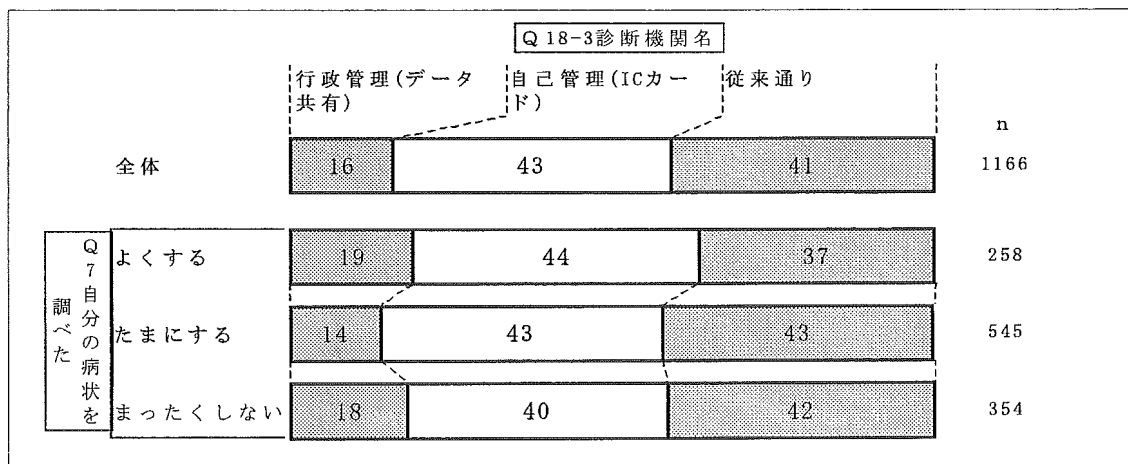
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-3「病歴における診断機関名の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは診断機関名をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-3診断機関名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	184 16.1	486 42.5	473 41.4	23
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258 100.0	47 18.5	114 44.9	93 36.6	4
	たまにする	545 100.0	74 13.8	234 43.7	228 42.5	9
	まったくしない	354 100.0	63 18.2	138 39.8	146 42.1	7



<考察>

病歴管理における診断機関名の管理については、「自己管理」と「従来通り」を希望する人が全体に占める割合はほぼ同じである。それに対して、「行政管理」をしたい人の割合は

相対的に低い。診断機関名を共有しなくても、患者自身が機関名を説明することはあまり面倒とは思わない。そして、共有してから、どういうふうに適切な処置に役に立つのは想像しにくい所もあるではないか。

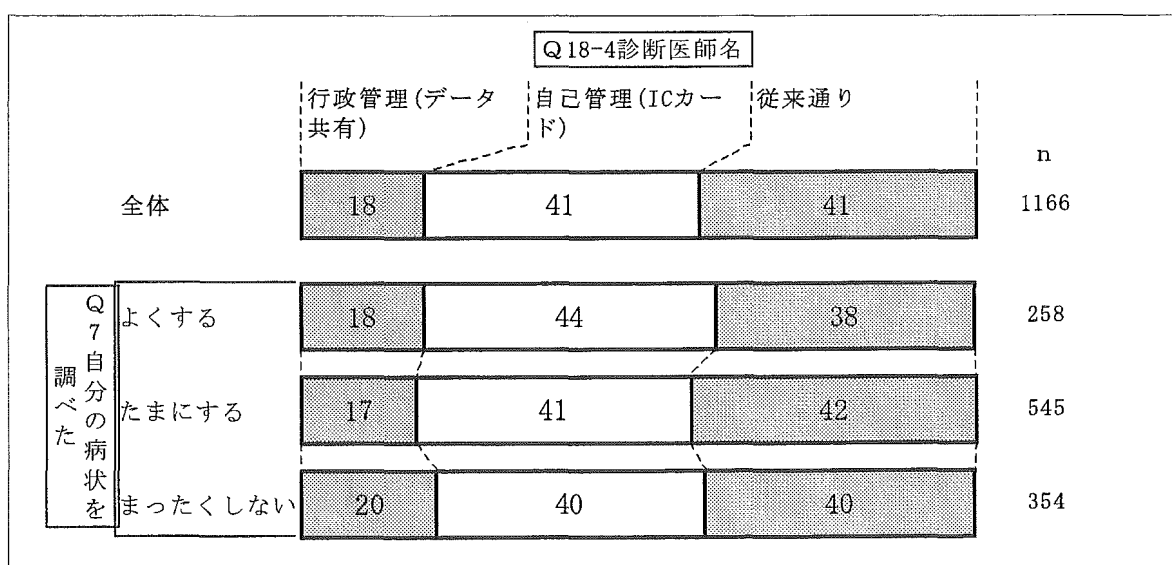
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-4「病歴における診断医師名の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは診断医師名をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

	合計	Q18-4診断医師名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	204 17.9	467 41.0	469 41.1	26	
Q7を自分の病状を調べた	よくする	258 100.0	46 18.1	111 43.7	97 38.2	4
	たまにする	545 100.0	90 16.9	217 40.6	227 42.5	11
	まったくしない	354 100.0	68 19.7	138 39.9	140 40.5	8



<考察>

病歴管理における診断医師名の管理については、「自己管理」と「従来通り」を希望する

人が全体に占める割合はほぼ同じである。それに対して、「行政管理」をしたい人の割合は相対的に低い。診断医師名を共有しなくても、患者自身が医師名を説明することはあまり面倒とは思わない。そして、共有してから、どういうふうに適切な処置に役に立つのは想像しにくいところがあるかもしれない。

問7「自分の病状を調べた程度」と問18-5「病気の際の検査歴における検査名の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは検査名をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

	合計	Q18-5検査名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	186 16.3	563 49.3	394 34.5	23	
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258 100.0	36 14.1	132 51.8	87 34.1	3
	たまにする	545 100.0	80 14.9	269 50.2	187 34.9	9
	まったくしない	354 100.0	68 19.7	160 46.2	118 34.1	8

		Q18-5検査名			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
Q7 自分の 病状を 調べた	全体	16	50	34	1166
	よくする	14	52	34	258
	たまにする	15	50	35	545
	まったくしない	20	46	34	354

<考察>

病気の際の検査歴における検査名の管理については、「自己管理」と希望する人が全体に占める割合はもっとも大きい。どんな病気をかかったのか、何の検査を受けたのかは個人のプライバシーであるため、自己管理したいことは理解できる。そして、行政管理と比べ、

従来通りに管理したい人のほうが多く見える。人の体はよく変化しているため、再検査を避けることはできないと思う。共有するメリットの説明に対して、イメージしにくいところがあるのではないかと思う。

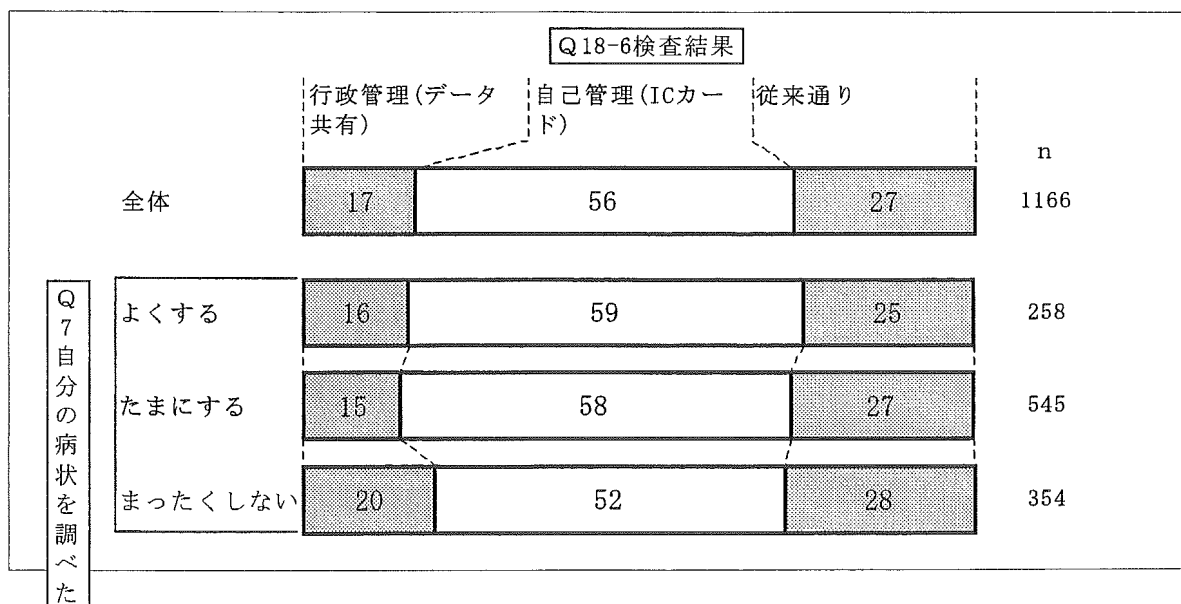
問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-6「病気の際の検査歴における検査結果の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは検査結果をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-6検査結果			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	189	645	310	22
		100.0	16.5	56.4	27.1	
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258	41	151	63	3
		100.0	16.1	59.2	24.7	
	たまにする	545	79	312	145	9
	100.0	14.7	58.2	27.1		
	まったくしない	354	69	180	98	7
	100.0	19.9	51.9	28.2		



<考察>

病気の際の検査歴における検査結果の管理については、「自己管理」と希望する人が全体に占める割合は圧倒的に大きい。患者が自分の個人情報を守りたい気持ちはわかる。そし

て、行政管理と比べ、従来通りに管理したい人のほうが多く見える。確かに、検査結果は今後の診断に役に立つが、個人のプライバシーであるため、漏れられたくないと思う人が多くいるかもしれない。

問7「自分の病状を調べた程度」と問18-7「病気の際の検査歴における検査機関の管理方法」のクロス集計分析

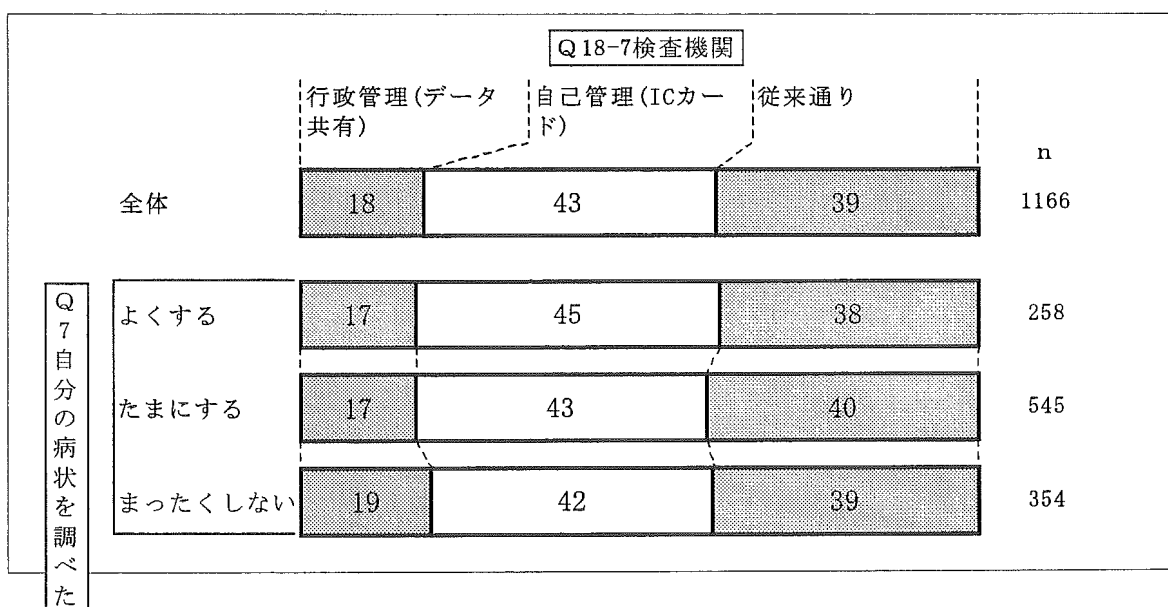
質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。

あなたは検査機関をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-7検査機関			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258 100.0	44 17.5	112 44.4	96 38.1	6
	たまにする	545 100.0	92 17.2	228 42.6	215 40.2	10
	まったくしない	354 100.0	67 19.4	145 42.0	133 38.6	9



<考察>

病気の際の検査暦における検査機関の管理については、「自己管理」と希望する人が全体に占める割合は比較的に大きくみえるが、従来通りにしたい人との差はあまり大きくない。要するに、行政管理が魅力的であるとは見えない。

問 7「自分の病状を調べた程度」と問 18-8「投薬歴における薬剤名の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは薬剤名をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

	合計	Q18-8薬剤名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25	
Q 7 状 を 自 調 分 べ の た 病	よくする	258 100.0	34 13.4	137 53.9	83 32.7	4
	たまにする	545 100.0	56 10.5	281 52.6	197 36.9	11
	まったくしない	354 100.0	60 17.3	159 45.8	128 36.9	7

		Q18-8薬剤名			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
全体		13	51	36	1166
Q 7 自 分 の 病 状 を 調 べ た	よくする	13	54	33	258
	たまにする	10	53	37	545
	まったくしない	17	46	37	354

<考察>

投薬歴における薬剤名の管理については、「自己管理」と希望する人が全体に占める割合はもっとも大きい。患者が自分の個人情報を守りたい気持ちはわかる。そして、行政管理と比べ、従来通りに管理したい人のほうが多く見える。確かに、薬剤名は今後の参考にな

るが、個人のプライバシーであるため、医療機関以外に多く知らせたくない人が多くいると思う。

そして、「行政管理」の割合が20%を超えていないことから、患者があまり行政管理をしたくないことはわかる。

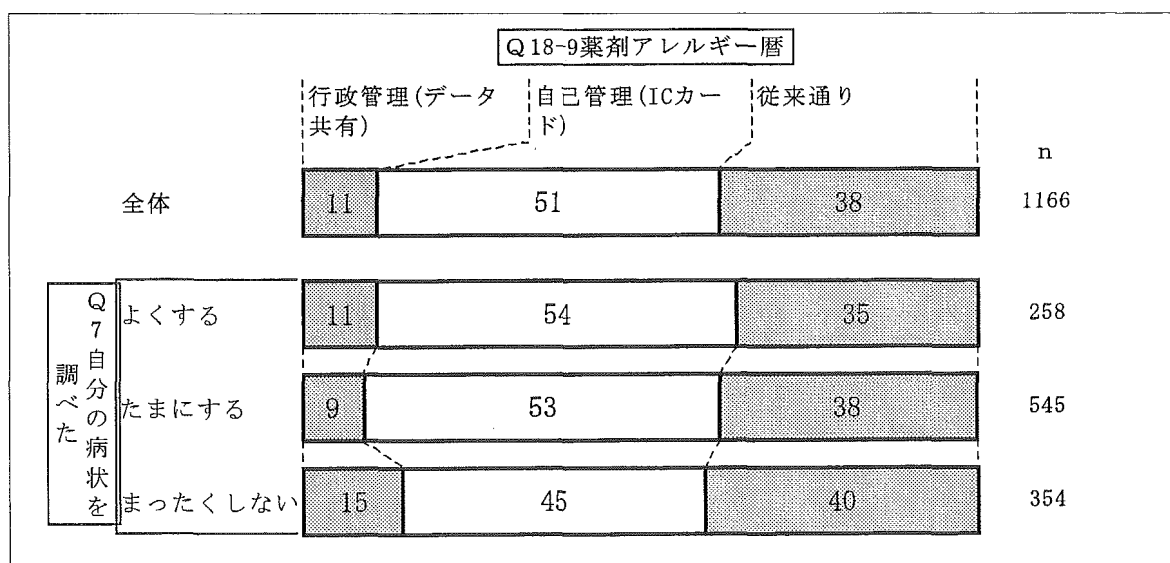
問7「自分の病状を調べた程度」と問18-9「投薬歴における薬剤アレルギー歴の管理方法」のクロス集計分析

質問方法：

「自分の病歴についての情報を共有すると、ある程度医療サービスの向上が期待できます。あなたは薬剤アレルギー歴をどのように管理したいと思いますか。」

「あなたはどのように管理したいと思いますか」

		合計	Q18-9薬剤アレルギー歴			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	129	577	433	27
		100.0	11.3	50.7	38.0	
Q7を 自分の 病状を 調べた	よくする	258	27	139	89	3
		100.0	10.6	54.5	34.9	
	たまにする	545	50	284	201	10
	100.0	9.3	53.1	37.6		
のた 病	まったくしない	354	52	153	138	11
		100.0	15.2	44.6	40.2	



<考察>

投薬歴における薬剤アレルギー歴の管理については、「自己管理」と希望する人が全体に占める割合はもっとも大きい。患者が自分の個人情報を守りたい気持ちはわかる。そして、行政管理と比べ、従来通りに管理したい人のほうが多く見える。確かに、薬剤アレルギーは今後の参考になるが、個人のプライバシーであるため、医療機関以外に多く知らせたく

ない人が多くいると思う。

また、「行政管理」の割合が20%を超えていないことから、患者があまり行政管理をしたくないことはわかる。そして、「行政管理」に対する理解は足りないこともあると思う。